## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011年 1月 1日作成)

	1		* <del></del>
小委員会名	鉄管製作小会目会		<b>主 査 名</b> : 吹田啓一郎 <b>就任年月</b> : 2009 年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会(鉄	骨工事運営委員会)	<b>委員長名</b> :桝田吉弘 <b>主 査 名</b> :岡田久志
設 置 期 間	2009年 4月 ~ 2013年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・本小委員会は、鉄骨加工に関する最新の研究ならびに開発技術の調査・研究を 行い、鉄骨加工の品質および性能の維持と向上を目指すことを目的とする。		
	委員公募の有無:無		
委員構成 (委員名(所属))	吹田啓一郎(京大)、嶋徹(戸田建設)、五十嵐規矩夫(東工大)、石井匠(JFE 技研)、伊藤拓海(東京理科大)、犬伏昭(清水建設)、岡田久志(愛工大)、後藤和弘(NTT ファシリティーズ),畑中清(NS ボルテン),多賀謙蔵(日建設計),高橋康文(川田工業)、西尾啓一(構造計画)、増田浩志(宇都宮大)、村上卓洋(高田機工),14名		
設置 WG (WG 名:目的)			
2010 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無:無 委員会 HP アドレス:	

項目	自己評価	
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催 し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	2010年5月12日,建築会館ホールにて「建築鉄骨工事の新たな課題への取り組み-鉄骨工事運営委員会調査研究報告-」と題した活動報告会を開催し,本小委員会から摩擦面処理,CFTのディテール,国外産鋼材,免震制振装置の取付,ボルト過大孔,建方時風荷重評価の6テーマに関する成果を報告し,報告書を刊行した。	
大会研究集会		
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 前年度からの課題に対する調査・研究の継続を実施。 2. JASS6, 鉄骨工事技術指針への適用の検討 3. JASS6 等に関する読者質問への対応	
委員会活動の問題点 ・課題	なし	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。